

秋田大学大学院教育学研究科

教職実践専攻

令和7年度（第Ⅱ期）入学試験問題

筆記試験

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題冊子には、問題用紙が1ページ、解答用紙が1ページあります。
- 3 問題は1題です。
- 4 問題冊子（問題用紙と解答用紙）の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 監督者の指示に従って受験番号を受験番号記入欄に記入しなさい。
- 6 解答は解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 7 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 8 試験終了後、解答用紙を除く問題冊子は持ち帰りなさい。

## 筆記試験 問題用紙

### 問題

下記の『学習指導要領解説』等では、改訂の基本方針として、教育基本法、学校教育法などを踏まえ、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を生かし、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指すこと、またその際、求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視すること、と述べられている。

このことについて、次の問いに答えなさい。

(出典：文部科学省 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 各教科等編(平成29年7月)』, 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 各教科等編(平成29年7月)』, 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 各教科等編(平成30年7月)』, 『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚部・小学部・中学部)(平成30年3月)』, 『特別支援学校学習指導要領解説 総則等編(高等部)(平成31年2月)』)

あなたが「社会に開かれた教育課程」の一環であると考えた授業または活動について、1単位時間の指導計画(略案)を作成しなさい。

なお、作成に当たっては、次の【条件】に従うこと。

#### 【条件】

- 学校種を、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の中から一つ選んで記述する。学年(幼稚園は年齢)、教科等(領域または活動も可)、単元名(題材名または活動名も可)を解答用紙の形式に従って記述する。
- 「社会に開かれた教育課程」の実現のために工夫する「教師の支援」の手立てにアンダーラインを3か所以上引く。また、その「教師の支援」の意図を、「(3) 教師の支援の意図」欄に記述する。
- 解答用紙の2の(2)における「過程」欄には、導入、展開、まとめなどを記述する。

筆記試験 解答用紙

受験番号

学校種・学年（幼稚園は年齢）

教科等（領域または活動も可）

1 単元名（題材名または活動名も可）

2 本時の計画

(1) 本時のねらい

(2) 学習過程：本時は全（ ）時間の（ ）時間目

過程	学 習 活 動	教 師 の 支 援

(3) 教師の支援の意図